

平成 22 年度

広島大学理学研究科 数学教室談話会

平成 23 年 1 月 18 日 (火) 午後 1 時
広島大学理学部 B 棟 7 階 B707 教室

宮路 智行 氏 (京都大学数理解析研究所)

On pulsative solution to the Lugiato-Lefever equation

Lugiato-Lefever 方程式と呼ばれる散逸項と入力場を伴う三次の非線形 Schrödinger 方程式を考える。光共振器におけるパターン形成のモデル方程式である。これはパルス状の定常解を持ち、複数のピークを持つ安定・不安定な定常パルス解が共存しうることが数値計算で知られている。我々はパルスの枝芽と考えられる解が分岐しうることを証明した。また、加法的ノイズを含む問題を定式化し、安定定常解のノイズに対する安定性についての考察を紹介する。本講演は大西勇准教授 (広島大)、堤誉志雄教授 (京都大) との共同研究に基づく。

同日午後 2 時より小会議室 (B708) において講演者を囲んでのお茶会を開きます。お気軽にご参加ください。

問合せ先:

広島大学理学研究科数学教室談話会係

〒 739-8526 東広島市鏡山 1-3-1

電話: 082-424-7346 (西森)

email: nishimor@math.sci.hiroshima-u.ac.jp

最新の教室情報はホームページをご覧ください。

<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/>